

日米医学医療交流財団 留学助成

研修報告書 (2015年度 助成者)

作成日 2015年 9月 30日

氏名	矢野 由希子
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2015年8月17日(月)～22日(土)
大学名 学年	慶應義塾大学 5年

このたび、日米医学医療交流財団より助成をいただき、ハワイにて医学部夏期集中医学英語研修に参加させていただきました。研修ではさまざまなプログラムが用意されていて、1週間という短い期間の中で非常に多くのことを学びました。

案内をいただいたのは、今年度末のアメリカの病院での臨床実習が大学内の枠で決まったばかりの時期で、その勉強を進めていくにあたり、座学だけではなく実際にアメリカに行つて実践的なトレーニングを積みたいと思ひ応募いたしました。

1週間の中の主なプログラムは **Clinical Practice**、**Medical Ethics**、病院見学でした。

Clinical Practice はハワイ大学の学生を相手に問診を行い、自分で鑑別診断まで考えて、指導教官の先生にその **Case presentation** を提示するというものでした。初めは照れもありぎこちなく、慣れない英語で情報を十分に集めることが難しかったのですが、指導教官の先生が毎回の確なフィードバックをくださるので、回数を重ねるごとに疾患を特定するのに必要な時間も短縮され、自分でも成長を実感することができました。アメリカでは問診と **Case Presentation** が特に重要視されると伺いましたが、それをここまで恵まれた条件で練習できる環境はなかなかないと思います。**Medical Ethics** では各回1つケースをあげて英語で討論をしたのですが、方向性は似ている意見でも自分では気づかなかった側面が見つかったり、また反対の意見でも納得のできる主張があったり、視野が広がり考えを深めることに繋がりました。病院見学では、日本人の先生が開業されているクリニックや総合病院を見学させていただき、病院の設備や働き方、アメリカの医療制度の利点と問題点などといったことを知ることができ、それまではアメリカの病院がどのようなものか漠然としかわからなかったため非常に良い経験になりました。他にもアメリカ臨床留学の現状、コミュニケーション学の講義など、様々なプログラムが用意されていて、どれも大変勉強になりました。

この研修にはさまざまな大学の学生が参加しており、モチベーションの高い他大学の学生と交流できたことにより、非常に多くの刺激を受けました。大学による文化の違いなども知ることができ、休み時間や食事の時間もとても楽しく過ごすことができました。

この研修に参加させていただき、短い期間ながらも非常に多くのことを学びました。また、今の自分に足りていないところ、帰国後に勉強をしなくてはいけないところも明確になり、非常に実りの多い1週間でした。

最後に、このプログラムを企画して下さった東海大学・神戸大学の先生方、ハワイでお世話になった方々、このプログラムに対して助成をしていただいた日米医学医療交流財団の方々に御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。